

### はじめに

私たちのまち小牧市は、『夢・チャレンジ』始まりの地です。これは、戦国の乱世において、織田信長が天下統一という夢に向かって、第一歩を踏み出した地であることに由来しています。

こうした郷土の歴史を礎に、次代を担うこどもたちの夢への挑戦を地域全体で応援するまちを目指し、平成27年度に「こども夢・チャレンジNo.1 都市宣言」をしました。温かな心の源となる『愛』、自らを高める意思の源となる『夢』、人生をたくましく生き抜くことができる『生きる力』を育むことが、教育における最も大切なことであると考えます。

小牧市では、これからも未来を担うこどもたちの夢へのチャレンジを市全体で応援していきます。

### 市制70周年記念

小牧市は令和7年1月1日に市制施行から70周年を迎えました。

この節目の年をこまきに関わるすべての方々と祝い、今のこまきの礎を築き発展させてきた先人たちの功績に感謝するとともに、行政だけでなく、市民等が主体的に参加することができる事業を実施することで、こまきへの愛着と誇りを深めるとともに、きらめく未来に向けて人と挑戦のつながりを強める機会とします。



# 教育委員会だより

## 総合的な学習の時間を拡充します

市内小中学校では、次代を生きるこどもたちが、持続可能な社会の担い手となり、それぞれの幸せや生きがいを感じられるよう、「総合的な学習の時間」を拡充し、「探究的な活動」を充実させるとともに、新たに「こまき『夢☆チャレンジ』科」を実施します。

「総合的な学習の時間」において、5つのステップ（①課題の設定↓②情報の収集↓③整理・分析↓④まとめ・表現↓⑤振り返り・改善）を繰り返すことを通して、こどもたちの「課題解決能力」「調整力」「創造力」等を育てていきます。

従来の「総合的な学習の時間」を「テーマ探究」の時間として、探究的な活動をより充実させます。そして、授業時数特例校の制度を活用して拡充した「総合的な学習の時間」を「こまき『夢☆チャレンジ』科」と称し、「MY探究」の時間として、こどもたち一人一人が、個々の課題やテーマに対して探究的に学習に取り組みます。

## 北海道八雲町との児童学習交流を実施しました！

市内の小学校6年生の児童を対象に北海道八雲町との学習交流を行っています。この交流は、明治の初め、小牧に住む人々が故郷を離れ、北海道八雲町の地を開拓したことを記念して始まったものです。

令和6年度は、8月上旬に小牧市の児童22名が八雲町を、11月上旬に八雲町の中学生6名が小牧市を訪れ、学習活動を通してお互いの故郷を学びながら、交流を深めました。

今年度も参加児童の募集を行います。募集の詳細は市ホームページに掲載いたしますので、ぜひご応募ください。



こども議会を開催します

市制70周年記念事業として、中学生が議員となり、市長に対して市政への質問や提案を行うこども議会を令和7年8月に開催します。

中学生に議会の雰囲気を感じてもらおうと、政治や選挙を身近に感じてもらい、地方自治への関心を高めてもらうことと、中学生の視点から様々なまちづくりのアイデアを提案してもらう中で、市政により関心を持つてもらい、愛着を深めてもらいます。

小中学校体育館に空調機を設置します

近年の記録的な猛暑の影響から、夏場の体育館内での活動は熱中症等のリスクが高まっています。体育館は児童生徒が授業・部活などの学校活動で使用するとともに、災害時にはこどもから高齢者までの市民の避難所にもなることから、熱中症等による事故を防止するため、小中学校体育館に空調機の設置を進めていきます。

新たな学校づくり推進計画を策定しました

小牧市では、近年、児童生徒数の減少が進んでおり、近い将来「1学年1学級」の学校が増える見込みです。あわせて、学校施設の老朽化も進んでいる状況です。これらの課題がある中で、こどもたちに充実した教育環境を整備するため、こどもたちにとってより望ましい教育環境と小牧市における学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を総合的に整理した「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。本市における学校の適正規模を下回る学校や、学校施設の老朽化が著しく進んでいる学校については、今後の対応を早急に決めなければならぬ状況にあるため、これらの学校が立地する、巾下・篠岡・北里地区については、保護者、教員、地域の方々と交えた学校再編の協議を開始する予定です。

本計画の詳しい内容は、市ホームページからご覧いただけます。

米野小学校を改築します

今年度から米野小学校の改築工事が始まります。米野小学校は、校舎の老朽化や児童数の増加による教室の不足等の課題を抱えており、これらの課題を解消するため、令和4年度から保護者や地元住民の方々とともに、検討を重ねてきました。令和7年度は、8月から改築工事を開始する予定です。

織田信長が築いた当時の小牧山城の姿をCGで再現！

令和3年度より小牧山山頂部で行っている史跡整備工事について、昨年度は歴史館の北東部で織田信長が築いた2段の石垣や、庭園跡と考えられる玉石敷遺構の復元などを行いました。

これまで整備してきた石垣は、安全面などから本来積まれていた高さではなく、発掘調査で見つかった石垣の高さまでを復元しています。

このため、令和7年度には、QRコードをスマートフォン等で読み込むと、音声解説とともに本来の高さの石垣を再現したCGを見ることができるよう案内看板を秋ごろ設置する予定です。

ぜひ小牧山を訪れ、織田信長が築いた当時の小牧山城の迫力ある姿を体感してください。



プロのダンサーが学校へ!

こまき市民文化財団と教育委員会が協力し、こどもたちが一流のアーティストと直接交流できる機会である、アウトリーチ事業を実施しています。

令和6年度は落語、邦楽(和太鼓)、ダンスのアウトリーチ事業を実施しました。コンテンポラリーダンスのアウトリーチ事業を体験したこどもたちからは、「コンテンポラリーダンスは、自分が思うままに自由に踊って表現でき楽しかった。」「講師の浅井さんのダンスが綺麗で、表現が分かりやすくすごかった。」との声がありました。

先生からは「ダンスがあまり得意ではないためダンスへの意欲が低い児童も、挙手発言したり、踊りの動きのバリエーションが増えていく様子が見られました。」という感想が聞かれました。

令和7年度も引き続きアウトリーチ事業を実施し、多くのこどもたちが文化・芸術に触れる喜びを感じることができるよう努めてまいります。



プロ野球オープン戦を開催しました

市制70周年記念事業として、令和7年3月14日に小牧市民球場にて「中日ドラゴンズ対埼玉西武ライオンズ」のプロ野球オープン戦を開催しました。

本市では平成31年3月以来6年ぶりの開催となり、当日は6,616人の観客が来場し、選手の1つ1つのプレーに歓声が上がりました。

小牧将棋まつりを開催します

市制70周年記念事業として、第1局の誘致を進めている「伊藤園お〜いお茶杯第66期王位戦7番勝負」の開催に先駆け、令和7年6月29日に市民館にて「小牧将棋まつり」を開催します。

こどもを対象にした将棋大会、プロ棋士による指導対局や初級講座、駒キーホルダー作り等を予定していますので、ぜひご参加ください。



通学路の安全対策

登下校中の児童生徒を交通事故から守るため、引き続き通学路標識の設置や、通学路にみどり色のカラー塗装を行うなど、こどもたちが安心して通学できる環境整備に努めていきます。

また、「小牧市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校と教育委員会が連携し、通学路における交通安全の確保に向けた取り組みを推進します。

通学路パトロールボランティアにご理解とご協力を

現在、保護者や地域の方々を始めとする約590名のボランティアに、児童の登下校時刻を中心に通学路のパトロールや児童の見守りをしていただいております。この活動にご協力いただける方は、最寄りの小学校へ是非お問合せください。今後も児童生徒の安全確保にご協力をお願いいたします。



キミと一緒に、育っていきたい。Komaki

発行/小牧市教育委員会

〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地

編集/教育総務課

TEL:0568-76-1164 FAX:0568-75-8283

Email アドレス:kysoumu@city.komaki.lg.jp